

関係者各位

2011年 7月 11日
ピーエムアール 株式会社
代表取締役社長 荒木 慎也

～迷子の子猫を救え！簡単☆アクションゲーム～

Android アプリ『ねこね★コネコ』配信開始！



■概要

ピーエムアール株式会社(本社:東京都渋谷区 代表者:荒木 慎也 以下、ピーエムアール)と株式会社NilOne(本社:東京都練馬区 代表者:窪田 豊 以下、NilOne)は協業して、Openfeintと連動するランキング機能を搭載した、ハイスピード・ワンボタンアクションゲーム『ねこね★コネコ』(無料)を制作し、2011年6月20日よりAndroid Marketにて提供を開始致しました。

本アプリはピーエムアールの自社アプリ第3弾となり、今後もAndroidアプリを中心に皆様楽しんで頂けるアプリを順次配信致します。

■ダウンロード

https://market.android.com/details?id=com.nilone&feature=search_result

■『ねこね★コネコ』とは？

気持ちよく晴れたある日のこと。子猫がうとうとしていると・・・そこは長距離トラックの上だった！！
見知らぬ都会へ連れて行かれてしまった子猫は、お家を目指す長い旅に出ることとなります。

家路の途中には危険がいっぱい！！容赦なく群がる凶暴(?)な野良犬たち…。手ごわい犬番長…。果たして、子猫は無事にお家へ帰ることが出来るのでしょうか？！

オープニングストーリーにはマンガ方式を採用。直感的に分かるストーリー展開で誰でも気軽にプレイができます！また、20段階にも及ぶ子猫のステータス強化が可能。スキルを高めて少しずつ難易度の高いステージにチャレンジ！さらに、Openfeintと連動したランキング機能で全国のプレイヤーとタイムや最大飛距離を競い合うことまでできちゃいます♪

■あそびかた

プレイヤーは子猫となってお家を目指します。

画面右下に表示される、ルーレットをタップすると針の位置に応じて子猫が勢いよく飛び出します。

ステージ上に群がる野良犬たちを踏みつけて、ゲーム内通貨とスコアをGET☆

地面に落ちてしまうと子猫は減速してしまいますのでご注意を！！

さまざまなアイテムを駆使していち早くお家へ帰りましょう。

■技術概要

本アプリは、パフォーマンスと iPhone への移植性を考慮した仕様となっており、今後リリース予定の iPhone 版開発コストは Android 版開発コストの 3 分の 1 程度に留めることが可能となります。

■アプリ概要

○アプリ名：ねこね★コネコ

○配信開始日：2011年7月11日

○提供価格：無料

○提供場所：Android™ Market

○カテゴリ：ゲーム>アーケード&アクション

○対応 OS：Android OS 2.1以上 推奨

Android OS 1.6以上 ベスト・エフォート

○対応機種：Android™搭載端末向け

○購入方法：https://market.android.com/details?id=com.nilone&feature=search_result

※「Android」は、Google Inc.の登録商標です





■本件に関するお問い合わせ先

ピーエムアール株式会社 社長室

担当:松本 和也

TEL:03-6415-8296

Mail:k.matsumoto@pmr.co.jp

(技術的な内容に関するお問い合わせ先)

株式会社 NilOne

担当:窪田 豊

Mail:yutaka.kubota@nil-one.com

■会社概要

ピーエムアール株式会社

【HP】 <http://www.pmr.co.jp/>

【所在地】 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 16F

【電話番号】03-6415-8292

【設立】 2003年11月

【代表者】 代表取締役社長 CEO 荒木 慎也

【事業内容】タレントを活用したインターネット広告および CGM に特化したインターネット広告代理店。

2010年からは新たにソーシャルアプリ、スマートフォンアプリを紹介する情報バラエティ番組の企画、制作から、ソーシャルアプリを活用したプロモーション提案まで「アプリ」と「広告」をキーワードに事業展開を拡大しております。

株式会社 NilOne

【HP】 <http://nil-one.jp/>

【所在地】 東京都練馬区小竹町 1-55-8 クワイエットブランチスタジオ C

【設立】 2011年4月

【代表者】 代表取締役社長 窪田 豊

【事業内容】モバイルコンピュータソフトウェアの制作会社。

主にスマートフォンアプリを制作しており、企画・開発・UI設計など制作全般を行います。利用者の生活シーンに溶けこみ、それ自体が環境となるようなソフトウェアを制作することを目指し、事業活動を行っています。